

車椅子利用者のバリアフリー情報のニーズについて

岩手県立大学 正会員 ○元田 良孝
 岩手県立大学 正会員 宇佐美 誠史
 積水ハウス 非会員 大竹 李加

1. はじめに

身体障害者の社会的活動が活発化し、高齢化社会の進展とともにバリアフリーが重要視されるようになった。平成12年には交通バリアフリー法が施行され、バリアフリーは重要な政策となっている。ハードなバリアフリーの整備には時間がかかるが、バリアフリー情報の提供は障害者にとって即効性のある手段である。バリアフリーマップはバリアフリー情報の提供形態として有効であるが、今までの研究はバリアフリーマップの作成過程¹⁾、運用²⁾の例があるが、障害者による評価についてはあまり研究例がない。障害者の側に立ったバリアフリー情報が与えられているとは必ずしも考えられないので、情報の供給側、需要側のミスマッチを解消することが重要と考えられる。ここでは車椅子利用者を対象として、バリアフリー情報の必要性についてアンケート調査を行い、問題点を探った。

2. 調査方法

バリアフリー情報のニーズや有効な情報提供の仕方、及び「バリアフリーマップ」の認知度・使用頻度、問題点を明らかにすることを目的として車いす利用者を対象にアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、バリアフリー設備の情報について、ピクトグラム(絵記号)について、バリアフリーマップについて、および属性である。対象は岩手県と宮城県の全国脊髄損傷連合会の会員とし、郵送配布・回収を行った。表1に回収率等を示す。

表1 回収率

県名	配布数	回収集	回収率(%)
岩手県	129	72	55.8
宮城県	154	59	38.3
合計	283	131	46.3

キーワード バリアフリー、バリアフリーマップ
 連絡先 〒020-0193 岩手県滝沢村菓子152-52
 Tel 019-694-2732 motoda@iwate-pu.ac.jp

3. 調査結果

(1) 属性

男性が96%と殆どであった。年齢は50歳以上が67%と中高年が多い。利用している車椅子は手動式が86%と大半である。運転免許は72%の回答者が保有しており、自動車を運転する人が多い。

(2) バリアフリー情報

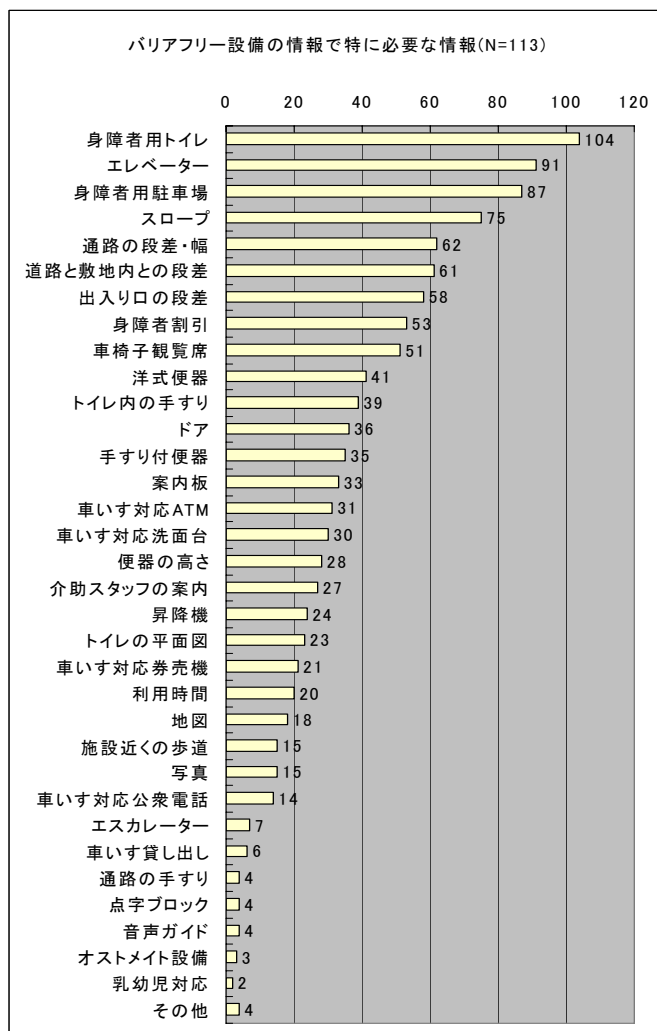


図1 必要なバリアフリー設備情報

①バリアフリー設備情報の必要度

バリアフリー設備情報がなくて困ったことがあるかを聞いたところ、85%の回答者が経験があると答えた。

②バリアフリー設備で必要な情報

バリアフリー設備情報で必要なものを複数回答で示したのが図1である。「身障者用トイレ」が一番多く、次いで「エレベーター」「身障者用駐車場」「スロープ」が多かった。身障者用トイレの有無、移動の際の情報が必要とされていることがわかる。

(2) ピクトグラム

絵で情報を表すピクトグラムについて聞いた。JISや国土交通省が定めるピクトグラムの他に多くのピクトグラムが使われているが、利用者にとってどのように評価されているかを調査した。ここではその一部を紹介する。

洋式トイレについて提案されているものを並べ、分かりやすいものと分かりにくいものを回答してもらった(図2)。

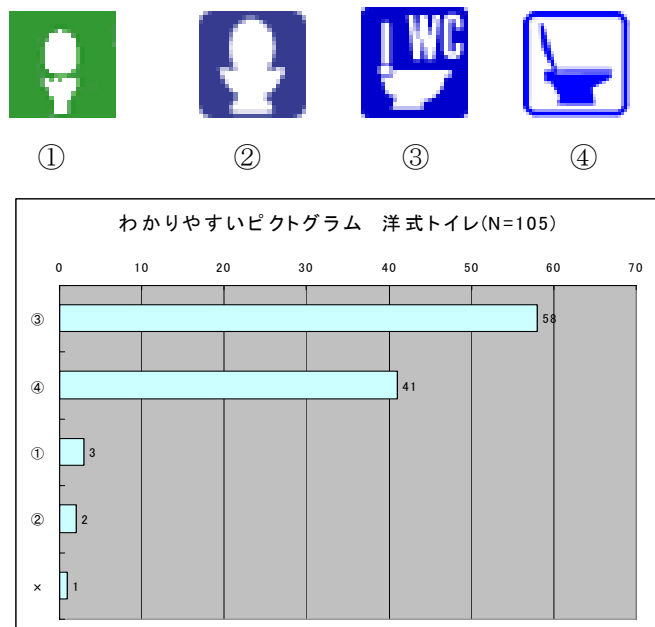


図2 分かりやすいピクトグラム(洋式トイレ)

回答によれば、分かりやすいのは③、④、①、②の順である。①、②が分かりにくかったのは正面からだ洋式トイレの形が認識しにくいからだと考えられ、③が分かりやすかったのは文字が入っていることで理解がしやすかったものと考えられる。

(3) バリアフリーマップ

①バリアフリーマップの認知度と利用度

どのくらい知っているかを聞いたところ、よく知っている、少し知っている、言葉だけ聞いたことがあるを合計すると82%と大半の人が知っていることになる。しかし利用度を見るといつも利用する、ときどき利用するを合わせて38%と過半数より少なくあまり利用されていないことがわかる(図3)。

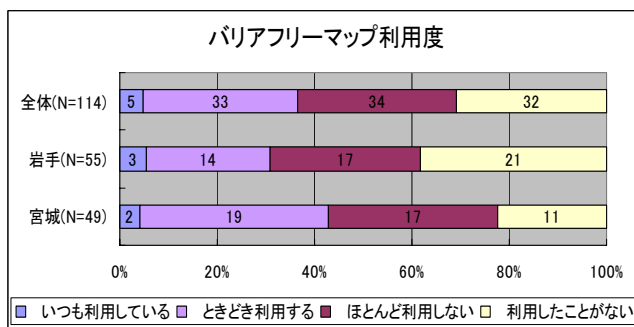


図3 バリアフリーマップ利用度

②バリアフリーマップに望むこと

回答者全員にバリアフリーマップに関して望むことを複数回答してもらった。この結果、情報の入手の容易さ、情報の正確さ、最新の情報などが上位に位置した(図4)。

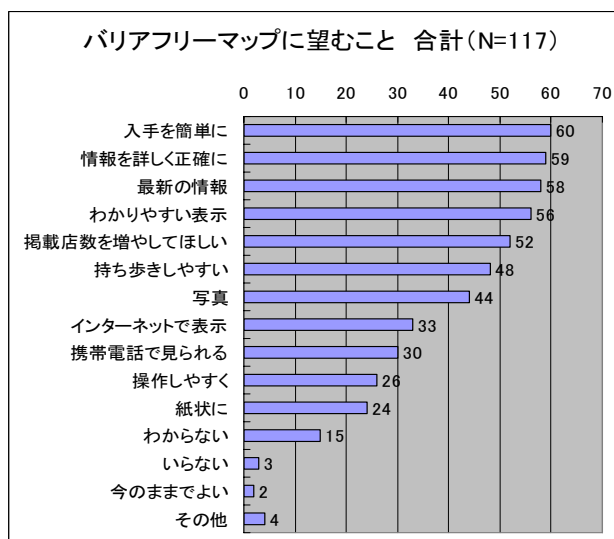


図4 バリアフリーマップに望むこと

4. おわりに

一連の調査からバリアフリー情報は必要とされているにもかかわらず、情報提供内容、情報提供方法について課題が存在することが明らかとなった。今後さらによりよいバリアフリー情報の提供方法について考察を進めてゆきたい。

参考文献

1) 浦 祐子他：障害者外出支援サイトによる障害者の社会参加推進、金沢大学経済学部卒業論文、2004年
 2) 阿部昭博他：住民参加型アプローチによるユニバーサルデザイン活動支援システムの開発、情報処理学会論文誌 第46巻 第3号、2005年3月